

## 当院において尿路感染症と診断され血液培養陽性となった方およびそのご家族の方へ

### — 菌血症をおこした尿路感染患者への初期投与抗生物質は何が有効か？

#### ～後ろ向き観察研究 への協力依頼 ～

研究機関名およびその長の氏名：岡山協立病院 病院長 角南 和治

研究責任者：岡山協立病院 臨床研修センター 松下 尚

#### 1) 研究の背景および目的

尿路感染症の起因菌は、施設入所者と在宅患者の間で「種類」自体には大きな違いはないものの、「耐性菌の発生率」に顕著な差異が認められていることが一般に知られています。主な起因菌は両群とも大腸菌（*Escherichia coli*）が最多ですが、施設入所者では薬剤耐性菌の割合が高く、特にフルオロキノロン系抗菌薬や広域  $\beta$ -ラクタマーゼ（ESBL）産生菌の検出率が高いことが特徴ともいわれています。当院には在宅や施設、病院から多数の患者様が入院されます。菌血症をおこした尿路感染症患者様の初回投与抗生物質は来所元から起因菌を推定して決定されることが多いため、来所元ごとに起因菌の種類や抗菌薬感受性を分析し、さらに初回投与抗生物質への起因菌感受性の状態を分析することで、尿路感染と診断した際の抗生物質選択への有益な情報源として活用できるものと考えます。

#### 2) 研究対象者

2024年4月1日～2025年3月31日に当院を受診し、尿路感染症と診断され血液培養陽性となった18才以上の患者様を抽出します。

#### 3) 研究方法

研究対象者の診療録より調査を実施させていただきます。対象患者様の個人情報には連結可能匿名化して個人情報保護をおこない分析をおこないます。

また、個人情報が漏洩しないようにプライバシーの保護に細心の注意を払っています。

#### 4) 使用した情報

- 性別、入院時年齢、検出菌種、初回投与抗生物質、初回抗生物質への感受性、転帰、来院元

**5) 使用した資料の保存**

この研究に使用した情報は電子情報のみであり、個人情報を含まないデータとして保存されます。研究終了後5年間、パスワードで制御されたコンピューター内に保管されます。データ抽出に使用した患者IDはインターネットに接続されていない別のコンピューター内に電子情報として保存されます。

**6) 研究資金と利益相反**

この研究に使用された研究資金は一切ありません。また利害関係が想定される企業等で研究責任者や家族が活動して収入を得ているようなことは一切ありません。

**7) 研究計画書および個人情報の開示**

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、御家族等（父母などの親権者、配偶者、成人の子または兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容の不明点についても、担当責任者に遠慮なくお尋ねください。

この研究は、あなたの個人情報を特定するデータがわからない形で、学会や論文として発表されます。

この研究にご質問があれば下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（御家族の方等も拒否を申し出ることができる場合があります）に御了承いただけない場合には研究対象とはいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが発表された場合は、個人が特定できない形式の場合は情報を削除修正できない場合がありますので、御了承ください。こういった場合に診療など病院サービスにおいて患者様に不利益が生じることはありません。

**<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>**

岡山協立病院 臨床研修センター

氏名：松下 尚

電話：086-271-2121（代表 平日9時～17時）